

－アジア・太平洋地域の水環境改善に向けて－ 下水道分野における国際展開の拠点都市に認定されました

本日、川崎市は、下水道分野で海外展開に先進的に取り組む地方公共団体として、国土交通省から「水・環境ソリューションハブ（Water and Environment Solution Hub : WES Hub）」の拠点都市（ハブ都市）に認定されました。

これを機に、入江崎水処理センター（川崎市臨海部）を「水環境技術のショーケース」として活用しながら、長年の下水道事業運営で培った技術・ノウハウの海外への情報発信と、「かわさき水ビジネスネットワーク」を通じた水ビジネスの促進を図り、川崎市の強みを活かしてアジア・太平洋地域の水環境改善により一層貢献していきます。



認定証の授与
 (右) 国土交通省 岡久下水道部長
 (左) 川崎市 平岡上下水道事業管理者



(前列左から2人目から)川崎市 平岡上下水道事業管理者、国土交通省 岡久下水道部長、埼玉県池田下水道局長、日本下水道事業団 村上理事

川崎市の強み | 特徴と実績 |

- ◇ **水環境技術のショーケース - 入江崎水処理センター(川崎市臨海部) -**
 - ・ 都心部や羽田空港から便利なアクセス
 - ・ 「見える化」で水処理技術を実感
 - ・ 川崎市臨海部に集積する環境技術
 - ・ 多言語に対応した設備や資料
 - ・ 高度処理、汚泥処理など様々な下水道技術の集積
- ◇ **先進技術・システムの導入 - 環境配慮型水処理施設 -**
 - ・ 環境改善 - 「高度処理」の導入によるリン・窒素の除去、光触媒塗装の導入
 - ・ 資源循環 - 高度処理水の再利用、汚泥有効利用等
 - ・ エネルギー活用 - 小水力発電、高効率機器の導入による省電力化 等
- ◇ **国際展開の活動実績**
 - ・ 専門家の派遣（ブラジル、ベトナム、ラオス等。のべ13名、37か月）
 - ・ 研修生・視察者受入れ（21か国118名：H23年度）
 - ・ かわさき水ビジネスネットワークの設立（平成24年8月）
 - ・ 官民連携による海外でのニーズ調査やセミナーの開催

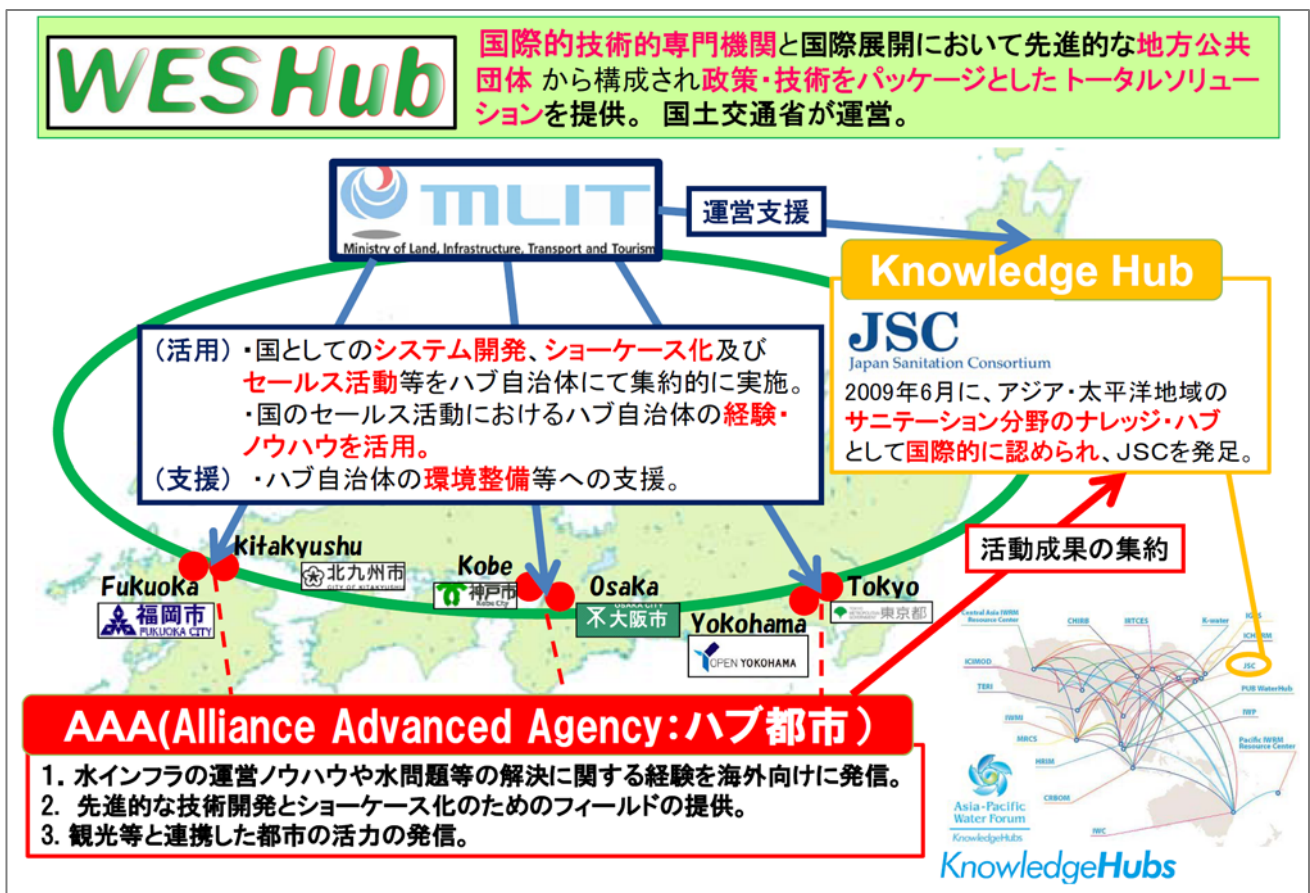
「水・環境ソリューションハブ」とは

アジア・太平洋地域の政府機関や援助機関等に対し、政策・技術等をパッケージとしたトータルソリューションを提供するため、国土交通省が平成24年4月に発足させたネットワークで、下水道分野で海外展開に先進的に取り組む地方公共団体が拠点都市「ハブ都市」として認定されています。

* 「ハブ都市」 (Alliance Advanced Agency : AAA)

東京都、横浜市、大阪市、神戸市、北九州市、福岡市、川崎市、埼玉県、
地方共同法人日本下水道事業団

「水・環境ソリューションハブ」(WES Hub) イメージ図



【お問合せ先】

川崎市上下水道局
経営管理部経営企画課
TEL 044-200-3739
FAX 044-200-3982